

外科

■**渡部 和巨** 旭川医科大学
副院長，主任外科部長，研修委員長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本医工学治療学会呼吸器分科会会長，
AARC（米国呼吸療法学会）ICRC（国際部会）
executive committee，
日本ヘルニア学会理事，
日本内視鏡外科学会評議員，
日本気胸・嚢胞性肺疾患学会評議員，
短期滞在手術研究会世話人，介護支援専門員，
臨床研修指導医
一般外科，呼吸器外科，血管外科，内視鏡外科，
ヘルニア，肛門外科

■**河野 至明** 鹿児島大学
肝胆膵外科部長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本消化器外科学会専門医・指導医，
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医・評議員，
日本緩和医療学会暫定指導医，
日本癌治療学会暫定教育医

■**柏木 宏之** 東海大学
肝胆膵外科部長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本消化器外科学会専門医・指導医，
日本内視鏡外科学会評議員，
日本消化器内視鏡学会専門医，
日本がん治療認定医機構がん治療認定医，
AHA BLSインストラクター，
AHA ACLSインストラクター臨床研修指導医，
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医，
日本医師会認定産業医
一般外科，消化器外科，肝胆膵外科

■**深井 隆太** 順天堂大学
呼吸器外科部長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本呼吸器外科学会専門医・評議員，
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定
指導医，日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医，
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケ
ア認定医
呼吸器外科

■**荻野 秀光** 山形大学
外科部長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本脈管学会認定脈管専門医，
日本血管外科学会認定血管内治療専門医，
胸部大動脈・腹部大動脈瘤ステントグラフト指
導医，臨床研修指導医
一般外科、血管外科

■**河内 順** 長崎大学
外科部長
日本外科学会外科専門医，
日本救急医学会専門医，
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
一般外科，外傷外科

■**下山 ライ** 秋田大学
外科部長
日本外科学会外科専門医，
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医，
日本がん治療認定医機構がん治療認定医，
検診マンモグラフィー読影認定医，
日本核医学会PET認定医，
インфекションコントロールドクター，
日本医師会認定産業医，臨床研修指導医，
緩和ケアに関する指導者研修会修了，

介護支援専門員

一般外科，腫瘍外科，薬物療法，緩和ケア

■池谷 佑樹 東邦大学

外科部長

日本外科学会外科専門医，

日本脈管学会認定脈管専門医，

日本血管外科学会認定血管内治療専門医，

胸部大動脈・腹部大動脈ステントグラフト指導
医

一般外科，血管外科

■磯貝 尚子 東京女子医科大学

日本外科学会外科専門医

一般外科，血管外科

■三宅 克典 京都大学

日本外科学会外科専門医

一般外科，腎移植外科

■西村 貞徳 大阪市立大学

第28期チーフレジデント

■新 みゆき 旭川医科大学

第28期チーフレジデント

■飯島 広和 群馬大学

第28期チーフレジデント

■篠崎 伸明（非常勤） 千葉大学

湘南藤沢徳洲会病院 院長

日本外科学会指導医，

日本消化器外科学会認定医，

日本救急医学会認定医，

日本透析療法学会認定医，

日本オストミー協会指導医，

日本内視鏡外科学会評議員，

日本医療マネジメント学会評議員，

日本クリニカルパス学会評議員，

短期滞在手術研究会世話人

一般外科，胸部外科，内視鏡外科手術，

介護支援専門員

■砂川 剛（非常勤） 琉球大学

名瀬徳洲会病院 外科部長

日本外科学会外科専門医

消化器外科，乳腺・甲状腺外科

はじめに

1988年に湘南鎌倉総合病院が開院して以来，患者様のために「常にメスのもてる内科医であれ」を理念にこれまでやってまいりました．25年が経過した現在もその理念を守り日々患者様のために診療を続けています．個々のスタッフは一般外科医として外科疾患全体の診療に当たるほか，それぞれが得意とする専門領域をもち各々の疾患に対して診療にあたっています．また呼吸療法士，感染症ナース，創部・褥創・人工肛門ケアナース（WOCナース），緩和ケア認定ナースなどの専門看護師が積極的に患者様と外科医との間に入り高いレベルでの専門ケアをとら行なっています．

当科の特徴としては在院日数が9～10日と非常に短いこと，手術件数が年間3,000件近くと非常に多く種類も多様であることがあげられます．日本ではじめて行われた日帰り手術は現在国内で定着し，当科においても全手術の約50%が日帰り手術センターで行なわれています．

院内には毎日当直医がおり，緊急時にはオンコールスタッフが30分以内に病院に来院可能であるため，これまで救急，緊急手術を断ったことは一度もありません．

またスタッフには介護支援専門員の資格をもっているものもあり，訪問看護・在宅医療を積極的に行なっています．

本年は呼吸器外科 深井隆太医師，肝胆膵外科 柏木宏之医師が着任したことにより，さらなる専門

外科領域の治療の質を向上すべく努力する所存です。

診療内容

【標榜科】外科・呼吸器外科・肛門科・気管食道科

対象疾患は呼吸器外科（気管・肺・縦隔などの良性・悪性疾患）、消化器外科（腹部消化器全般の悪性腫瘍、胆石症・痔などの良性疾患など）、乳腺・甲状腺外科・内分泌外科（乳癌・乳腺腫瘍、甲状腺・副甲状腺・副腎疾患など）、血管外科（胸腹部大動脈瘤・末梢血管・下肢静脈瘤・透析シャント造設など）と多岐にわたっております。また、腹部大動脈破裂・末梢血管閉塞・腸閉塞・腹膜炎・自然気胸・外傷などの緊急手術と広い範囲をカバーしており365日、24時間いつでも対応いたします。

腹腔鏡手術、胸腔鏡手術を1990年から導入し、患者様に負担が少ない治療を率先して行なっています。

外来は月曜日から土曜日まで一般外来、専門外来を行なっています。

【専門外来】肝胆膵外科外来、胆石外来、血管外科外来、下肢静脈瘤外来、肛門外来、呼吸器外来、内分泌外科外来、腫瘍外科外来

本年の動向

昨年より引き続き1月より4月まで第27期レジデントである佐藤雄生、木村慎一医師がチーフレジデントを務めました。

4月より第28期レジデント西村貞徳医師、第31期レジデント東弘太郎医師、野田朋宏医師が、5月には第28期レジデント新みゆき医師が着任しました。西村医師が翌年4月まで、新医師が本年10月までがチーフレジデントをつとめました。

7月に呼吸器外科部長として深井隆太医師が入職しました。また、東医師が帯広徳洲会病院に転出、第31期レジデントの宮本直樹医師が着任しました。

8月に肝胆膵外科部長として柏木宏之医師が入職しました。

10月に宮本医師が名瀬徳洲会病院に、野田医師が東京西徳洲会病院に転出、第31期レジデントの中川将視医師、山本孝太医師が着任しました。

11月に新医師が湘南藤沢徳洲会病院に転出、飯島広和医師が第28期チーフレジデントとして着任しました。

診療実績

■手術

全手術件数：2,950件（NCD登録件数）

■呼吸器領域

当科では原発性肺癌、転移性肺腫瘍（他臓器癌の肺転移）、縦隔腫瘍、気胸、胸壁腫瘍、重症筋無力症、胸の炎症疾患である膿胸、壊死性降下性縦隔炎などを扱っています。

本年より呼吸器外科部長として深井隆太医師が着任しました。外科、呼吸器内科、放射線（腫瘍）科と連携して、最先端の医療を行います。常に個々の患者さんにとってベストな治療が何かという視点で医療を行うことをこころがけています。

●肺癌・縦隔1腫瘍手術

肺葉切除：31件（うち鏡視下30件）

縦隔腫瘍摘出術：2件（うち鏡視下1例）

●良性疾患手術

胸腔鏡下肺部分切除術：29例

肺縫縮術：3例（うち鏡視下1例）

漏斗胸手術：20件

■消化器領域

対象疾患は消化器全般にわたります。

悪性疾患としては、食道・胃・大腸癌・肝胆膵癌に対する根治手術、腸閉塞・消化管穿孔など急性腹症に対する緊急手術などがあります。

食道癌

食道癌診断・治療ガイドライン（日本食道学会）に基づき、治療方針を検討しています。

0期 食道癌

粘膜内にとどまるがんが相当します。消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

I期 食道癌

粘膜下層まで浸潤を認めるがんが相当します。深達度により消化器病センター（消化管内科）での内視鏡的切除、または当科での外科的切除が適応になります。内視鏡的切除後に粘膜下層深部への浸潤を認めた場合には、追加治療として外科的切除もしくは化学放射線療法を検討します。

II～III期 食道癌

術前化学療法としてFP療法（5-フルオロウラシル＋シスプラチン）を2サイクル施行した後に根治切除を行います。手術不耐と判断された場合、手術を希望されない場合には根治的放射線療法を検討します。

IVa期 食道癌

周囲へ浸潤を認めるがん、遠くのリンパ節まで転移を認めるがんなどが相当します。術前化学療法により切除が期待できる場合には、II～III期と同様に術前化学療法としてFP療法（5-フルオロウラシル＋シスプラチン）を2サイクル施行した後に根治切除を行います。

治癒切除が難しく、手術に不耐と判断された場合、手術を希望されない場合には根治的放射線療法を検討します。化学放射線療法が困難な場合には、症状緩和のための食道ステント留置、栄養のための胃瘻造設などを検討します。

IVb期 食道癌

肝臓、肺などに遠隔転移を認めるがんが相当します。治癒が望めないことが多いため、延命治療とし

ての化学療法、緩和治療としての放射線療法・化学放射線療法が行われます。症状緩和のための食道ステント留置、栄養のための胃瘻造設なども検討します。切除可能な場合には進行例に対しては術前化学療法を施行した後、可能な限り胸腔鏡・腹腔鏡による低侵襲手術を心がけております。

切除不能食道癌または手術不耐例に対しては放射線腫瘍科と連携のうえ、化学放射線療法を行っております。

●食道悪性腫瘍手術

食道亜全摘術：4件

胃癌

胃癌治療ガイドライン（日本胃癌学会）に基づき、治療方針を検討しています。

I a期 胃癌

粘膜内もしくは粘膜下層までにとどまるがんが相当します。大きさや組織型などで判断しますが、可能なものは消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

内視鏡的切除の適応外となる場合には腹腔鏡下胃切除術を検討します。

I b期 胃癌

早能な限り腹腔鏡手術を行います。

II a～IIIc期 胃癌

基本的には開腹手術による胃切除およびリンパ節郭清を行います。年齢・合併症の程度などから低侵襲性を優先して腹腔鏡下に手術を行うこともあります。II期の一部およびIII期に対しては、術後補助化学療法としてS-1（ティーエスワン）1年間内服を行っております。

IV期・再発胃癌

遠隔転移を伴う例、根治切除不能例・再発例に対しては全身化学療法のほか、閉塞解除のためにステント留置、バイパス手術なども行います。

●胃悪性腫瘍手術

胃全摘術：27件（うち鏡視下7件）

幽門側胃切除術：35件（うち鏡視下14件）

胃部分切除術：2件（うち鏡視下2件）

胃空腸吻合術：8件

診査腹腔鏡：1件

大腸癌

大腸癌治療ガイドライン（大腸癌研究会）に基づき、治療方針を検討しています。

0期 大腸癌

粘膜内にとどまるがんが相当します。消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

I期 大腸癌

粘膜下層まで浸潤を認めるがんが相当します。深達度により消化器病センター（消化管内科）での内視鏡的切除、または当科での外科的切除が適応になります。手術適応症例に対しては可能な限り腹腔鏡下手術を行います。

II～III期 大腸癌

可能な限り腹腔鏡下手術を行いますが、手術歴や進行具合によっては開腹手術が望ましいこともあります。

II期の一部およびIII期に対しては、術後補助化学療法としてUFT/LV、カペシタビン（ゼローダ）、S-1（ティーエスワン）など経口抗がん剤を半年間内服していただきます。III期の一部の方には点滴の抗がん剤を併用するXELOX療法（カペシタビン+オキサリプラチン）を行います。

IV期 大腸癌

肝臓、肺などに遠隔転移を認めるがんが相当します。治癒が望めないことが多いため、多くの場合には延命治療としての化学療法が選択肢となります。

しかし、転移巣も含めた切除が可能と判断された場合には、原発巣および転移巣の手術を行っており

ます。進行・再発例に対しては、分子標的薬を含む化学療法や病勢制御・症状緩和のための放射線療法も積極的に行っております。

●大腸悪性腫瘍手術

結腸切除術：96件（うち鏡視下52件）

高位・低位前方切除術：27件（うち鏡視下20件）

直腸切断術：5件（うち鏡視下3件）

人工肛門造設術：13件

ハルトマン手術：4件

腸吻合術（バイパス）：1件

肝胆膵癌

切除可能例に対する根治手術のほか、経皮的胆道ドレナージ、経皮的・内視鏡的胆道ステント留置、ラジオ波焼灼術などの低侵襲治療も行っております。また、切除不能例に対する放射線療法、化学療法も積極的に行っています。

●肝臓悪性腫瘍手術

肝切除術：18件（うち鏡視下5件）

●胆道悪性腫瘍手術

肝切除術：2件

胆嚢摘出術（肝合併切除）：2件

膵頭十二指腸切除術：4件

●膵臓悪性腫瘍手術

膵頭十二指腸切除術：10件

膵体尾部切除術：7件（うち鏡視下2件）

膵腫瘍核出術：1件

良性疾患

当院は胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の日帰り手術を日本で初めて行い、現在では標準術式として認識されています。そのほか食道アカラシア、直腸脱、内痔核など良性疾患に対する手術や特発性食道破裂、胃十二指腸潰瘍穿孔、腸閉塞、大腸穿孔などの緊急手術も多数行っており、24時間365日対応しております。

●食道疾患

食道裂孔ヘルニア根治術：3件
(うち鏡視下2件)

●胃・十二指腸潰瘍

大網充填術：13件

●腸閉塞

癒着剥離術：38件

小腸部分切除術：39件

腸切開術：1件

閉鎖孔ヘルニア手術：2件

内ヘルニア手術：1件

●急性虫垂炎

虫垂切除術：158件 (うち鏡視下12件)

●大腸良性疾患 (憩室・捻転など)

大腸切除術：15件 (うち鏡視下6件)

ハルトマン手術：27件

●肛門疾患

痔核根治術：70件 (うちPPH法64件)

裂肛根治術：9件

痔瘻根治術：20件

肛門ポリープ切除術：4件

直腸脱手術：5件

肛門周囲膿瘍切開排膿術：14件

●胆石症

胆嚢摘出術：198件 (うち鏡視下189件)

総胆管結石載石術：2件

■内分泌外科

甲状腺・副甲状腺・副腎などの疾患に対応しております。主に甲状腺癌疾患(甲状腺癌, 甲状腺腺腫), 副甲状腺疾患(原発性, 二次性副甲状腺機能亢進症など), 副腎疾患(副腎腺腫, 副腎癌, 褐色細胞腫など)に対する手術を行っております。

乳腺疾患については乳腺外科の頁をご参照ください。

甲状腺疾患

●良性疾患

腺腫摘出術：5件

●甲状腺癌

片葉切除術：5件

甲状腺癌全摘術：2件

副甲状腺疾患

腺腫過形成手術：10件

副腎疾患

副腎摘出術：6件 (うち鏡視下5件)

■血管外科

胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト術は症例数が増加しています。閉塞性動脈硬化症に対してはバイパス術や血栓内膜摘除術と血管内治療のhybrid手術を積極的に導入しております。

血液透析の内シャント造設とその機能低下に対するシャント血管拡張やシャント再建術は可能な限り即日手術, 即日退院で行っており, 他施設からも多くのご依頼を頂いております。

●大動脈瘤

腹部大動脈瘤人工血管置換術：8件

ステントグラフト内挿術(胸部)：15件

ステントグラフト内挿術(腹部)：51件

ステントグラフト内挿術(腸骨動脈)：6件

●末梢血管

末梢血管バイパス手術：22件

末梢動脈瘤切除術：2件

血管結紮術：2件

動脈内膜摘出術：24件

血栓除去術：5件

血管拡張術：27件

血管塞栓術：8件

経皮的血管形成術：3件

●シャント

内シャント造設術：186件

(うち人工血管33件)

シャント血栓除去術：27件

シャント血管拡張術：430件

シャント血管結紮術：6件

●静脈瘤

抜去切除術：151件

高位結紮術：51件

血管内静脈焼灼術：59件

●その他

中心静脈輸液用ポート造設：41件

■日帰り手術センター

1995年5月に日本で初めての日帰り手術を開始し、この10年間で他施設の日帰り手術に多くの影響を与えてきました。現在、年間2,000件以上の手術のうち50%が日帰り手術センターで行われています。

今後、同日入院・同日手術がこれまで以上に多くなり、その意味でも日帰り手術センターの役割は大きいといえます。

●ヘルニア手術

鼠径ヘルニア根治術：368件

大腿ヘルニア根治術：8件

腹壁癒痕ヘルニア根治術：9件

臍ヘルニア根治術：8件

●肛門手術（再掲）

痔核根治術：70件（うちPPH法64件）

裂肛根治術：9件

痔瘻根治術：20件

肛門ポリープ切除術：4件

直腸脱手術：5件

肛門周囲膿瘍切開排膿術：14件

●胆石症（再掲）

胆嚢摘出術：198件（うち鏡視下189件）

●静脈瘤（再掲）

抜去切除術：151件

高位結紮術：51件

血管内静脈焼灼術：59件

●その他

皮膚腫瘍・皮下腫瘍切除術：32件

リンパ節生検：46件

■外傷外科

胸腹部や多発外傷を中心とした一般外科の外傷入院は平均してひと月6人ほどです。特に多発外傷で全身状態が不良の患者様は安定化するまで外科で管理し、落ち着いたら各科に転科することになります。

今年度の外科外傷手術症例は以下の通りです。手術室に透視ベッドが導入され、腹部骨盤外傷のDSAが手術室でも出来るようになりました。手術への移行の可能性、重症度、他科のスケジュールなどを考慮して従来の血管造影室と使い分けています。

●手術

開胸止血術：1件

肝縫合術：1件

小腸切除・縫合術：3件

人工肛門造設術：2件

試験開腹術：3件

診査腹腔鏡：1件

デブリードマン：1件

●IVR

血管造影・塞栓術：8件

ステントグラフト留置：2件

■オンコロジーセンター

外科部門として外来化学療法を積極的に行っております。現在、乳癌における術後補助化学療法その他、進行再発消化器癌全般、進行再発肺癌などを対象にQOLを考慮した化学療法を行っております。

す。また、新規抗癌剤の使用、臨床試験・治験への参加も積極的に行い治療に当たっております。

■訪問診療・在宅緩和ケア

外来通院が困難になった場合や、治癒困難な悪性疾患のため自宅でご家族とできるだけ長く生活することを望まれた場合、外科医師が往診して最期までケアさせていただきます。在宅では中心静脈栄養・末梢静脈栄養・経管栄養の他、酸素療法・経鼻胃管の管理、オピオイドによる疼痛コントロールなど入院中とほぼ同様のことが可能です。

■公開医学講座・講演

毎月10～14の講座を各地域で行っております。

依頼講演も随時お引き受けしております。

◆痛くない痔の日帰り手術（担当：渡部・磯貝）

◆手のひらの汗でお悩みの方へ（担当：渡部）

◆胆石症・胆嚢ポリープと日帰り手術
（担当：荻野・河内）

◆足の静脈瘤でお悩みの方へ
～最新レーザー治療～（担当：池谷・磯貝）

◆鼠径ヘルニアと日帰り手術（担当：河内）

◆腹部大動脈瘤の最新低侵襲治療
～ステントグラフト～（担当：荻野）

◆下肢閉塞性動脈硬化症～足の動脈閉塞について～
（担当：荻野・池谷）

◆肺がんのお話（担当：渡部）

◆がんのお話
～予防と早期発見のために～（担当：下山）

◆胃潰瘍？それとも...～胃癌の話～（担当：下山）

◆便秘や痔だと思いませんか？
～大腸癌の話～（担当：下山）

◆静かに忍び寄る膵臓癌について（担当：下山）

◆のどのつかえはありませんか
～食道癌のお話～（担当：下山）

◆ここまでできる腹腔鏡手術

～胃がん・大腸がん・その他～（担当：河内）

学術業績

(1) 論文発表

1. 河内順, 荻野秀光, 下山ライ, 磯貝尚子, 渡部和巨, 寺島孝弘, 三浦一郎: S状結腸膀胱瘻に対して膀胱鏡併用下に腹腔鏡手術を行った1例. 日本外科系連合学会誌 2014; 39(6): 1150-1154.
2. 河内順, 磯貝尚子, 下山ライ, 三宅克典, 荻野秀光, 渡部和巨: 腸間膜に発生したaggressive angiomyxomaの一例. 日本臨床外科学会雑誌 2014; 75(6): 1607-1610.
3. 河内順, 平沼進, 荻野秀光, 梅沢耕学, 下山ライ, 渡部和巨: 経肛門的小腸脱出を伴う特発性直腸穿孔の一例. 臨床外科
4. 下山ライ, 伴卓史朗, 三宅克典, 磯貝尚子, 池谷佑樹, 河内順, 荻野秀光, 渡部和巨: MRI核酸強調画像によりカペシタピン関連白質脳症の早期診断が可能であった1例. 癌と化学療法 2014; 41(10): 1251-1253.
5. 荻野秀光: 腹腔鏡下虫垂切除を行った巨大後腹膜膿瘍を伴った小児穿孔性虫垂炎の1例. 日本腹部救急医学会雑誌 2014; 34(8): 1523-1526.
6. 湯地大輔, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 池谷佑樹, 山部剛史, 西智史, 大城規和, 白水御代: 腎機能低下症例に対する開心術後のトルバプタンの使用経験. 新薬と臨床 2014; 63(10): 1582-1587.
7. 橋本和憲, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 伊藤智, 池谷佑樹, 山部剛史, 島田直洋, 西智史, 湯地大輔, 大城規和, 白水御代: トルバプタンの開始術後水分管理における安全性と有用性の検討. Fluid Management Renaissance 2014;

4 (2) : 194-198.

8. Kashiwagi H1, Kumagai K2, Nozue M2, Terada Y2.
Morgagni hernia treated by reduced port surgery.

Int J Surg Case Rep. 2014;5(12):1222-4.

(2) 学会発表

9. 海氣勇氣, 高木睦朗, 元榮薫子, 中山哲成, 総谷哲也, **新みゆき**, **飯島広和**, 佐藤雄生, 加藤一郎, 平田裕久, 西田智喜, 伴卓史朗, 小銭太郎, 高力俊策, **渡部和巨**: 腹部鈍的外傷後腹部コンパートメント症候群の陥り広範囲腹壁欠損から難治性腸管皮膚瘻を呈するが集中治療で回復閉腹し得た症例. 第64回日本救急医学会関東地方会, 横浜, 2014, 2.
10. 湯地大輔, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, **池谷佑樹**, 山部剛史, 西智史, 大城規和, 白水御代: 狭小大動脈弁輪に対するMosaic19mmの有用性の検討. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会, 熊本, 2014, 2.
11. 田中正史, 湯地大輔, 片山郁雄, 野口権一郎, **池谷佑樹**, 山部剛史, 西智史, 大城規和, 白水御代: 解剖学的除外基準による TAVI 臨床試験不適格症例に対する Surgical AVR の手術成績. 第44回日本心臓血管外科学会学術総会, 熊本, 2014, 2.
12. 大城規和, 野口権一郎, 田中正史, 片山郁雄, 池谷佑樹, 山部剛史, 西智史, 湯地大輔, 白水御代: 左房内巨大血栓で発症した心筋梗塞の1症例. 第164回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 東京, 2014, 3.
13. **荻野秀光**, **河内順**, **下山ライ**, **池谷佑樹**, **磯貝尚子**, **三宅克典**, **渡部和巨**: 破裂性腹部大動脈瘤治療の最前線 破裂性腹部大動脈瘤に対する EVAR の最前線. 第50回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2014, 3.
14. **荻野秀光**, 小林修三, 大竹剛靖, 日高寿美, 守矢英和, 松見純也, 近藤謙司, 遠山哲彦, **渡部和巨**, **下山ライ**, **河内順**, **磯貝尚子**: 生きる活力を引き出すチーム医療 当院におけるフットケアチームの取り組み. 第31回日本医工学治療学会学術大会, 広島, 2014, 3.
15. 高木睦郎, 佐藤雄生, 西田智喜, 平田裕久, 伴卓史朗, **磯貝尚子**, **池谷佑樹**, 高力俊策, 小銭太郎, **荻野秀光**, 宮沢善夫, **渡部和巨**: 診断困難な小腸出血に対する当院における手術の工夫. 第114回日本外科学会定期学術集会, 京都, 2014, 4.
16. 飯田浩司, **渡部和巨**, 磯村正: 漏斗胸に対する胸肋挙上術. 第31回日本呼吸器外科学会総会, 東京, 2014, 5.
17. **池谷佑樹**, **荻野秀光**, 野口権一郎, 片山郁雄, 田中正史: 腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術後遠隔期の腰動脈瘤破裂が疑われた後腹膜出血の一例. 第42回日本血管外科学会学術総会, 青森, 2014, 5.
18. **磯貝尚子**, **荻野秀光**, **池谷佑樹**, **河内順**, **下山ライ**, **三宅克典**, **渡部和巨**: 急性胸部大動脈症候群に対する緊急ステントグラフトによる治療成績の検討. 第42回日本血管外科学会学術総会, 青森, 2014, 5.
19. **荻野秀光**, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典: 破裂性腹部大動脈瘤に対する EVAR 湘南プロトコールの実績. 第42回日本血管外科学会学術総会, 青森, 2014, 5.
20. 高木睦郎, 佐藤雄生, 阿曾沼良太, 総谷哲也, **新みゆき**, 西田智喜, 伴卓史朗, **磯貝尚子**, **池谷佑樹**, 高力俊策, 小銭太郎, **荻野秀光**, **渡部和巨**: ステロイド内服が契機に発症したと考えられた SMA 塞栓の一例. 第42回日本血管外科学

- 会学術総会，青森，2014，5.
21. 佐藤守彦，萬淳史，下山ライ，石岡邦啓：Pasteurella 属菌が検出された15症例の検討．第62回日本化学療法学会総会，福岡，2014，6.
 22. 池谷佑樹，大城憲和，白水御代，湯地大輔，西智史，山部剛史，野口権一郎，片山郁雄，荻野秀光，田中正史：急速拡大および腎動脈灌流不全を併発した急性B型解離に対してTEVARおよび腎動脈ステントを留置した一例．第165回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，横浜，2014，6.
 23. 湯地大輔，大城規和，白水御代，山部剛史，池谷佑樹，野口権一郎，片山郁雄，田中正史：左肺動脈に穿破下弓部大動脈瘤の一例．第165回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，横浜，2014，6.
 24. 山部剛史，田中正史，野口権一郎，池谷佑樹，西智史，大城規和：急性大動脈解離に合併した臓器灌流障害に対して術中DSAが診断治療に有用であった1例．第165回日本胸部外科学会関東甲信越地方会，横浜，2014，6.
 25. 河内順，下山ライ，磯貝尚子，荻野秀光，河野至明，池谷佑樹，渡部和巨，市田知之：分娩時に発症したメッケル憩室反転による腸重積の一例．第39回日本外科系連合学会学術総会，東京，2014，6.
 26. 河内順，荻野秀光，下山ライ，渡部和巨，河野至明，滝上隆一，福田貴則，池谷佑樹，三宅克典：リンパ節病変を伴う回盲部子宮内膜症の一例．第39回日本外科系連合学会学術総会，東京，2014，6.
 27. 村田宇謙，荻野秀光，池谷佑樹，磯貝尚子，河内順，下山ライ，三宅克典，渡部和巨：正中弓状靱帯圧迫症候群による腹腔動脈狭窄に対してステント留置を行った1例．第39回日本外科系連合学会学術総会，東京，2014，6.
 28. 左近龍太，高木睦朗，星川聖人，澤村直樹，飯島広和，加藤一郎，西田智喜，伴卓史朗，高力俊策，小銭太郎，渡部和巨：鼠径ヘルニア術後（リヒテンシュタイン）に大腿ヘルニア嵌頓を来した一例．第39回日本外科系連合学会学術総会，東京，2014年6月
 29. 河内順，池谷佑樹，荻野秀光，磯貝尚子，三宅克典，渡部和巨：腰動脈損傷に対してステントグラフト内挿術で治療した2例．第28回日本外傷学会総会・学術集会，東京，2014，6.
 30. 田中久美子，下山ライ，門谷靖裕，池田真美：維持透析患者における乳癌術後治療の検討．第22回日本乳癌学会学術総会，大阪，2014，7.
 31. 池谷佑樹，磯貝尚子，河内順，下山ライ，荻野秀光，渡部和巨：ParitexProgrid Meshを使用したLichtenstein法におけるLateral Tail First Technique．第69回日本消化器外科学会総会，郡山，2014，7.
 32. 下山ライ，門谷靖裕，三好良太郎，大淵尚，山上浩，河内順，荻野秀光，渡部和巨：一般病院の救命救急センターにおける救急外来でのがん患者の受け入れ状況の検討．第52回日本癌治療学会学術集会，横浜，2014，8.
 33. 田中久美子，下山ライ，山下理絵，大村素子，高野祥子，門谷靖裕，手島伸一：Bev-Pac療法を含む集学的治療で局所コントロール可能となった巨大乳腺粘液癌の一例．第52回日本癌治療学会学術集会，横浜，2014，8.
 34. 麻生圭子，野呂瀬記子，田中讓，田中正史，荻野秀光，小出康弘，齋藤滋：湘南鎌倉ハートチームにおけるコーディネーターの取り組みと今後の課題．第23回日本心血管インターベンション治療学会，名古屋，2014，7.

35. 徳本直彦, 三宅克典, 長谷川正宇, 松浦亮, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 当院における先行的腎移植の検討. 第50回日本移植学会総会, 東京, 2014, 9.
36. 荻野秀光, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 山部剛史, 片山郁雄, 野口権一郎, 田中正史, 渡部和巨: 大動脈瘤に対するステント治療の進歩 破裂性腹部大動脈瘤に対する緊急 EVAR 湘南プロトコールの実績. 第62回日本心臓病学会学術集会, 仙台, 2014, 9.
37. 三宅克典, 徳本直彦, 磯貝尚子, 河内順, 下山ライ, 荻野秀光, 渡部和巨: 単孔式腹腔鏡下 CAPD カテーテル留置および固定術の経験. 第27回日本内視鏡外科学会総会, 盛岡, 2014, 10.
38. 徳本直彦, 三浦一郎, 三宅克典, 村田憲彦: 当院におけるロボット支援下前立腺全摘除術の治療経験について. 第27回日本内視鏡外科学会総会, 盛岡, 2014, 10.
39. 佐藤洋子, 田中久美子, 下山ライ, 田中江里, 田嶋亜弥, 坂井由紀子, 加賀谷範芳, 手島伸一: 組織型を極める 悪性リンパ腫 腫瘤を形成した乳房悪性リンパ腫の5例. 第33回日本乳腺甲狀腺超音波医学会学術集会, 別府, 2014, 10.
40. 磯貝尚子, 荻野秀光, 池谷佑樹, 渡部和巨, 河内順, 下山ライ, 三宅克典: EAVR が有効であった大動脈十二指腸瘻の1例. 第56回日本脈管学会総会, 東京, 2014, 10.
41. 千葉義郎, 山田典弘, 倉岡節夫, 篠永真弓, 荻野秀光: 高度に変形した自家性ステントグラフト留置後の瘤拡大に対して再TEVARを施行した一例. 第56回日本脈管学会総会, 東京, 2014, 10.
42. 池谷佑樹, 荻野秀光, 野口権一郎, 片山郁雄, 田中正史: 大動脈解離に対するステントグラフト治療 当院における急性 B 型大動脈解離に対するステントグラフト内挿術の検討. 第56回日本脈管学会総会, 東京, 2014, 10.
43. 荻野秀光, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 渡部和巨, 林忍, 渋谷慎太郎, 秋好沢林: 腹部大動脈破裂に対するステントグラフト治療 破裂性腹部大動脈瘤に対する湘南プロトコールの有用性 神奈川県ステントグラフトネットワークによる多施設共同研究. 第56回日本脈管学会総会, 東京, 2014, 10.
44. 山上浩, 山本真嗣, 梅沢耕学, 大淵尚, 今村太一, 荻野秀光: 腹部大動脈瘤破裂の診断遅延リスクの検討. 第42回日本救急医学会総会・学術集会, 福岡, 2014, 10.
45. 大城規和, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 池谷佑樹, 山部剛史, 湯地大輔, 白水御代: 特発性気管支動脈出血による縦隔血腫に対し血管内治療で救命した1例. 第166回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 高崎, 2014, 11.
46. 山部剛史, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, 池谷佑樹, 湯地大輔, 大城規和, 白水御代: 部分弓部置換術後の遠位弓部残存解離腔拡大に対して TEVAR を施行した一例. 第166回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 高崎, 2014, 11.
47. 新みゆき, 田中久美子, 渡部和巨, 荻野秀光, 河内順, 磯貝尚子, 西村貞徳, 東弘太郎, 野田朋宏, 井上裕美, 手島伸一: 卵巣癌術後14年で腋窩リンパ節単独再発を来した1例. 第76回日本臨床外科学会総会, 郡山, 2014, 11.
48. 三宅克典, 磯貝尚子, 河内順, 下山ライ, 荻野秀光, 渡部和巨: 当院における腹膜透析カテーテル留置術の工夫 Multi-channel port を使用した腹腔鏡下カテーテル挿入および固定術. 第76回日本臨床外科学会総会, 郡山, 2014, 11.

49. 西村貞徳, 三宅克典, 磯貝尚子, 河内順, 下山ライ, 荻野秀光, 渡部和巨: 繰り返す胃軸捻転を伴った Upside down stomach に対して腹腔鏡下手術を施行した1例. 第76回日本臨床外科学会総会, 郡山, 2014, 11.
50. 下山ライ, 荻野秀光, 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典, 渡部和巨, 吉澤和希: 外科医が行う在宅医療の問題点と将来展望 当院における外科医による訪問診療の現状. 第76回日本臨床外科学会総会, 郡山, 2014, 11.
51. 田中久美子, 佐藤洋子, 下山ライ, 荻野秀光, 河内順, 磯貝尚子, 三宅克典, 渡部和巨, 西村貞徳, 新みゆき, 野田朋宏, 東弘太郎, 手島伸一: 局所進行乳癌に対する外科療法と薬物療法の新展開 原発性乳癌T4症例に対する集学的治療の経験. 第76回日本臨床外科学会総会, 郡山, 2014, 11.
52. 佐々木亜希子, 江頭秀人, 市田親正, 所晋之介, 富山周作, 伊藤亮次, 稲田遙, 佐藤淑, 戸倉満, 角谷拓哉, 秋田泰平, 益田作栄, 魚嶋晴紀, 河内順, 築山俊毅, 小泉一也, 金原猛, 賀古眞: 緊急内視鏡を含めて消化管出血における手技と工夫 非静脈瘤病変の上部消化管出血における内視鏡的止血困難例・血管イベント併発例の検討. 第99回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 東京, 2014, 12.